

荻窪地域区民センター協議会設立42年のあゆみ（1978年10月～2021年3月）

昭和53年	1978	10月	「荻窪地域区民センター運営協議会」設置
昭和54年	1979	2月	広報紙「荻窪地域区民センター報（現在の『わたしのおぎくぼ』）」創刊（現在迄362号発行）
		3月	杉並区内で初の区民センター、「荻窪地域区民センター」が誕生
昭和55年	1980	3月	第1回「おぎくぼセンターまつり」開催
		6月	第1回「美術展（現在のアート展）」開催
昭和56年	1981	3月	第1回「地域懇談会」
昭和62年	1987	4月	区民センター運営協議会の運営管理が住民に委託
平成4年	1992	7月	「荻窪地域区民センター運営協議会」が「荻窪地域集会所運営協議会」に改称
		11月	「本天沼区民集会所」開館
平成5年	1993	11月	第1回「本天沼集会所まつり」
平成10年	1998	11月	設立20周年祝賀会開催
平成16年	2004	12月	ホームページ開設
平成21年	2009	3月	設立30周年記念式典開催
		9月	第1回「防災フォーラム」を「西荻地域区民センター協議会」と共同開催
平成22年	2010	4月	「荻窪地域集会所運営協議会」を「荻窪地域区民センター協議会」に改称
平成26年	2014	10月	「荻窪音楽祭」に「地域ふれあいマチネコンサート」自主企画で参加
		6月	広報紙「わたしのおぎくぼ」域内5小学校全児童へ配布開始
平成29年	2017	11・12月	「荻窪の記憶Ⅰ／大田黒公園周辺100年の歴史」荻窪地域区民センターロビーにて展示
平成30年	2018	5月	広報紙「わたしのおぎくぼ」域内4中学校全児童へ配布開始
		6月	第1回「さいえんす緑日」…小学生向け科学あそびの企画
平成31年	2019	2月	設立40周年記念行事にて、地域センター前の道の愛称を公募、「荻外荘通り」に決定
		3月	設立40周年事業として、冊子「荻窪の記憶」（初版）を発行
令和元年	2019	5月	組織改編 センターカレッジ部（CC部）の業務を事業企画部が引き継ぐ
		11月	沿道住民の協力の下、「荻外荘通りプレート」の設置を開始
令和2年	2020	11月	地域交流会「こみゆに亭」～作って、食べて、遊ぼう～を開催
		3月～8月	緊急事態宣言発令等の新型コロナ感染症対策のため、活動がほぼ全面ストップとなる
令和2年	2020	4月	荻窪駅南口地下通路に「写真が伝える『荻窪の記憶』」のパネルを設置（区の事業に協力）
		10月	第1回 地域交流会「こみゆに亭カフェ」開催
令和3年	2021	1月～3月	2度目の緊急事態宣言発令。イベント・講座等はほぼ中止となる
		3月	冊子「新版荻窪の記憶」発行 大田黒公園周辺、天沼、南荻窪・宮前の夫々100年の歴史を収録

直近2年間の出来事（2021年4月～2023年3月）

令和3年	2021	4月	令和3年度定期総会、並びに感謝状贈呈式を実施。区長より卒業する委員に感謝状を贈呈
		5月～7月	コロナ禍のため、アート展・さいえんす緑日をはじめ、イベント・講座の延期・中止が続く
		10月	「おぎくぼセンター祭」の規模を縮小し、「マルシェ in 荻窪地域区民センター」を開催する
		11月	広報紙「わたしのおぎくぼ」を荻窪高校全生徒への配布開始
		12月～	広報紙「わたしのおぎくぼ」に「近隣の高等学校訪問」の連載を開始。第1回は中大杉並高校
令和4年	2022	12月～3月	パネル展「荻窪の記憶Ⅳ」を郷土博物館分館、及び荻窪地域区民センターにて開催
		3月	冊子「荻窪の記憶Ⅳ」を発行 清水・桃井・今川の歴史を収録
		4月	講座申込を従来の往復はがきに加え、ホームページからの申込が出来るように対応する
		6月～9月	コロナ禍で開催できなかった「センター祭」「さいえんす緑日」「アート展」が復活開催
		10月	「防災フォーラム」を当協議会単独で開催（従来、西荻地域区民センターと協働し開催）
令和5年	2023	10月・11月	「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」、「荻窪音楽祭/地域ふれあいアフタヌーンコンサート」開催
		12月～3月	パネル展「荻窪の記憶Ⅴ エピソード、発展と変貌」を郷土博物館分館、及び荻窪地域区民センターにて開催
		2月	第29回本天沼集会所まつりを開催
		3月	過去7年間のプロジェクト活動の集大成となる冊子「総集版 荻窪の記憶」の編集を完了

活動報告 **わたしのおぎくぼ** 22号

表紙：荻窪駅北口ロータリー、荻外荘
荻外荘通りプレート、大田黒公園
荻窪地域区民センターと荻外荘通り

活動報告

わたしの **おぎくぼ** 22号

隔年発行

— 令和3年4月～令和5年3月 —



発行：令和5年3月31日
 発行者：荻窪地域区民センター協議会
 東京都杉並区荻窪2-34-20 〒167-0051
 TEL:03(3398)9127 FAX:03(3398)9128
 ホームページ：<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp>

荻窪地域区民センター協議会

ごあいさつ

2年間の活動を振り返って



荻窪地域区民センター
協議会会長

茂木 愛一郎

本冊子は、荻窪地域区民センター協議会の最近2年間の活動をまとめたものです。協議会創立から四十余年、本シリーズとして22号となります。

この2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大と時期を同じくすることになり活動の制約を受けることになりましたが、細心の注意を払って続けて参りました。そのためイベントの延期や中止をせざるを得なかったり、開催する場合も計画を縮小したり、講座のクラス規模の縮小をすることになり、多くの参加希望者のご意向に添えられない場合もあったと存じます。ひとつの工夫として、前半の年には「センターまつり」の代わりに「マルシェ in 荻窪地域区民センター」を10月に開催、後半の年には「マルシェ & ハロウィン子どもまつり」を加え、多くの若いファミリーの参加をいただきました。

また恒例の「防災フォーラム」ですが、後半の年のテーマを「障害者と考える防災」といたしました。地域にとって多様性を認めあうことが重要ですが、災害時の大きな課題となります。多くの方から気づき・配慮の場となったと反響をいただきました。多様性の重視は、地元のネパール人学校の紹介やインドネシア社会・文化の紹介プログラムなどにも生かされております。

当協議会の40周年記念事業として始まった『荻窪の記憶』シリーズですが、今年度末には総集編となる冊子を発行、パネル展示をセンター内と杉並区立郷土博物館分館で開催することもできました。関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

協議会はこれからも住民の方々とのつながり、各種団体との協働に基づく活動を進めて参りたいと存じます。皆さまからのご支援をお願いいたします。

「わたしのおぎくぼ」22号の発刊を祝して



杉並区長

岸本 聡子

「わたしのおぎくぼ」第22号が発刊されましたこと、心よりお慶び申し上げます。

荻窪地域区民センター協議会の皆様には、町会・自治会、学校などの皆様と連携して地域の活性化にご尽力いただき深く感謝申し上げます。

貴協議会の活動は、おぎくぼセンター祭、アート展、さいえんす縁日、防災フォーラムや多くの講座の開催により、小さなお子さんから高齢の方々まで、様々なニーズに対応し、課題解決の糸口を提供いただいていると伺っています。また、貴協議会が行ってきた「荻窪の記憶」の執筆・刊行活動は、在住の方に地域の生の歴史について伺い、冊子に編集される貴重な事業と感じています。その冊子に込められた郷土愛を育む力は、極めて大きいものと確信しております。

私が区長に就任し、実現したいことは、多くの区民を幸せにするための具体的な取組を区民の皆様にお示しし、実行していくことです。そのためには、目標の実現に向けて、幅広い区民の声を聴きながら、区としての考え方をまとめてまいりたいと考えています。

貴協議会は、「地域懇談会」に加え、「地域交流会・こみゆに亭カフェ」を開催し、地域の方々が気軽に集える場を提供してこられました。私は、これらの活動により生まれた地域のネットワークこそが、より良好な地域コミュニティ形成の原動力になるものと期待しております。今後とも、事業の更なる充実・強化を図り、地域コミュニティの中心的存在として、ご尽力いただきますように、心からお願い申し上げます。

結びに、貴協議会のますますのご発展と、委員の皆様のご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

荻窪地域区民センター協議会の概要

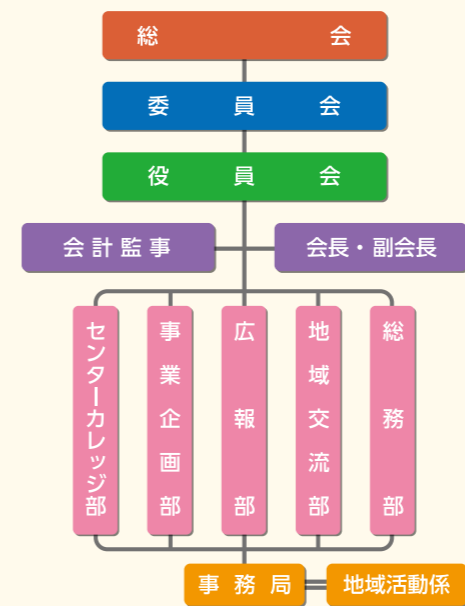
《協議会の概要》

当協議会は杉並区初の区民センター「荻窪地域区民センター」の運営協議会として昭和53年10月に設置されました。40年以上の歴史をもちます。

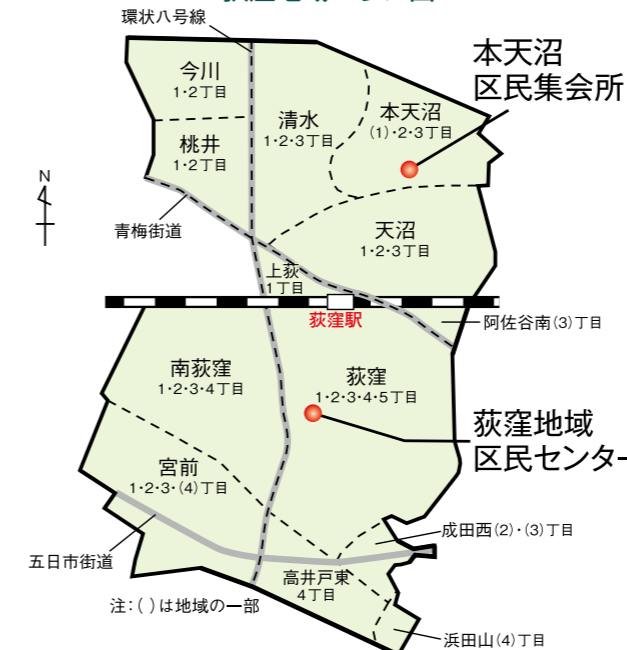
対象地域は荻窪地域エリアです（荻窪地域エリア図参照）。活動目的として、1) 住民同士の交流の便宜を図ること、2) 良好な地域コミュニティの形成に役立つことを通じ、住みよいまちづくりに寄与すること、を掲げています。

協議会は杉並区から財政面と事務局機能の提供を受け、地域内の町会・自治会・商店会、小・中学校PTA、青少年育成委員会、民生委員児童委員協議会

荻窪地域区民センター協議会の運営組織図



荻窪地域エリア図



など諸団体からの支援のもと、荻窪地域区民センターを拠点に、様々な事業を実施しています。委員は「荻窪地域エリアに在住、在勤、在学」のいずれかに該当する方で構成されます（20～30名）。地域の皆さままでこうしたボランティア活動をしていただける仲間を募集しています。

《当協議会の主な事業》

- 各種学級講座や講演会の開催
- おぎくぼセンター祭・本天沼集会所まつりアート展などの集団事業の実施
- 防災フォーラム・荻窪音楽祭などの協働事業推進
- 広報紙発行やホームページの運営など

協議会の委員 (◎：部長、○：副部長) 令和5年3月現在			
役職・所属	氏名	期	住所
会長	茂木愛一郎	22期	天沼
副会長	萬 靖義	22期	荻窪
	惠羅 博	22期	荻窪
会計監事 (2名)	伊藤 佳江	22期	荻窪
	桑山 務	23期	天沼
総務部 (2名)	◎船津まさ子*	22期	宮前
	杉原幸一郎	23期	南荻窪
事業企画部 (センターカレッジ部兼) (8名)	◎惠羅 博	22期	荻窪
	○本田 良夫	22期	天沼
	染谷 貞夫	21期	天沼
	熊谷 伸成	23期	宮前
	堀川 秀夫	23期	天沼
	菊野 一雄	23期	荻窪
	香取 真実	23期	本天沼
	弘中 義夫	23期	荻窪
地域交流部 (5名)	◎萬 靖義	22期	荻窪
	○影山 健次	22期	宮前
	杉浦 和子	23期	荻窪
	上田 昌子	23期	清水
	小野美和子	23期	南荻窪
広報部 (4名)	◎横尾 耕一	21期	荻窪
	松崎茂一郎	21期	宮前
	西村 淳一	23期	荻窪
	伊藤久美子	23期	南荻窪
協議会の事務局員			
事務局長	吉川 英一		
職員	岩井 智子		
	鈴木喜代美		

*途中退会委員 (1年以上在籍) 大矢正男(22期)、高橋昭浩(22期)、東海林明(23期)
※総務部長：大矢正男(令和3年4月～令和4年12月)、船津まさ子(令和5年1月～3月)

●杉並区内の7つの地域区民センター協議会

協議会名	住所 (最寄り駅)
阿佐谷地域区民センター協議会	阿佐谷北1-1-1 (中央線「阿佐ヶ谷」)
井草地域区民センター協議会	下井草5-7-22 (西武新宿線「井荻」)
永福和泉地域区民センター協議会	和泉3-8-18 (井の頭線「永福町」)
荻窪地域区民センター協議会	荻窪2-34-20 (中央線「荻窪」)
高円寺地域区民センター協議会	和田1-41-10 (丸ノ内線「東高円寺」)*
高井戸地域区民センター協議会	高井戸東3-7-5 (井の頭線「高井戸」)
西荻地域区民センター協議会	桃井4-3-2 (中央線「西荻窪」)

*高円寺地域区民センター協議会は仮移転先住所

荻窪地域区民センター

〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20
☎3398-9127 (協議会事務局)
☎3398-9125 (センター受付)



本天沼区民集会所

〒167-0031 杉並区本天沼2-12-10
☎5310-4633
(令和5年度より改修予定)



2年間の協議会活動 (令和3年度・令和4年度)



定期総会と感謝状贈呈式 「荻外荘通り」愛称プレート

現代の短編を読む 地域交流会「こみゆに亭カフェ」

初心者のための俳句教室 リズム&ストレッチ

ハーモニーを楽しむ ヴォイストレーニング 講談鑑賞会

春 令和3年度 夏



定期総会 自然探訪 善福寺池の四季

講談鑑賞出前授業 地域交流会「こみゆに亭カフェ」

おぎくぼセンター祭 リズム&ストレッチ

地域清掃 クリーン大作戦 さいえんす緑日

春 令和4年度 夏




マルシェ in 荻窪地区民センター 荻窪音楽祭/地域ふれあいアフタヌーンコンサート

防災フォーラム 手塚治虫との対話から

館外研修 防災施設「そなエリア東京」見学 秋を楽しむ木の実教室

ピバ・発酵食! 腰痛スッキリ体操

秋 冬



マルシェ&ハロウィン子どもまつり 荻窪音楽祭/地域ふれあいアフタヌーンコンサート

大人のワイン講座 荻窪寄席

アート展 フライパン1つでできるフランス料理講座

ひらやすかつこが歌う日本の歌世界の歌 本天沼集会所まつり

秋 冬

事業企画部

この2年間は新型コロナ流行下での活動でしたが、各講座、イベント毎に会場の収容能力の30~50%程度に募集定員を設定し、また、感染防止対策に万全を期すことで、出来る限り多くのご要望に応えられるよう、多彩な事業企画を目指しました。幸い、一昨年度、昨年度と徐々に感染症への警戒感も減少し、実施された講座、イベント、パネル展示の数は令和3年度24件、4年度27件で、コロナ禍以前の時代と比べても、それほど遜色ありません。ただし、参加者の定員を大幅に抑えたことで、参加者総数は十分に回復したとはいえません。



後列左から染谷、菊野、香取、弘中、堀川
前列左から熊谷、恵羅、本田

●多彩な講座の実施

以下のような、毎年好評で定番となっている講座が開催されました。「季節の草花の寄せ植え」、「リズム&ストレッチ」、「ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング」、「秋を楽しむ木の実工作」、「講談鑑賞会」、「初心者のための自分の一句を残しましょう」、「いきいき朗読教室」、「背骨を鍛えよう！腰痛スッキリ体操」など。一方、新しい視点からの企画もありました。地域への関心を促す野外講座「善福寺池の四季」4回シリーズ、荻窪の食文化の一端を紹介する「フランス料理講座」、「大人のワイン講座」などです。



善福寺池の四季

背骨を鍛えよう！腰痛スッキリ体操

●イベントと協働事業

協働事業「荻窪寄席」、「防災フォーラム」が今年度も多くの方々のご協力を得て開催されました。特に後者は、「障害者と考える地域の防災」というテーマで、貴重な会を持つことができました。

コロナ禍のため2年間中止となっていた児童向けイベント「さいえんす縁日」が令和4年度に復活開催されました。また、3、4年度「講談鑑賞出前授業」はそれぞれ桃二小、杏掛小に受けて頂きました。また、多文化共生を指向した新たな協働事業「インドネシアを楽しもう」が開催されました。

令和3年度から荻窪保健センターと協働で「荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター」が始まりました。



さいえんす縁日
紙飛行機大会 竹とんぼを作って飛ばそう



防災フォーラム



講談鑑賞出前授業



荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター

■令和4年度 事業企画部 講座等実績一覧表

月	開催日	名称	ジャンル	講師	参加者等
5月	5/14Ⓟ	野外講座「武蔵野の面影を探して」	歴史	松井 和男	14
	5/18・25、6/8・15Ⓢ	読書会 最高の短編小説を読む	文学・文芸	生田 美秋	67
	5/28Ⓟ	季節の草花の寄せ植え(洋風)	草花・自然	吉野 華恵	12
6月	6/8・15・22・29Ⓢ	リズム&ストレッチ	健康・運動	後藤 鈴香	78
	6/16Ⓢ	自然探訪(善福寺池の四季)第1回	草花・自然	星野 義延 他	20
7月	7/4Ⓢ	講談鑑賞出前授業(杏掛小)	キッズ	神田 山緑	5・6年生
	7/31Ⓢ	さいえんす縁日	キッズ		197
8月	8/3・10・17・24Ⓢ	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング	健康・運動	安藤 操	69
	8/6Ⓟ	インドネシアを楽しもう	国際・文化		49
	8/13Ⓟ	講談鑑賞会	芸能	神田 山緑 他	22
9月	9/15Ⓢ	文学講座「アメリカ文学は夫婦愛から始まる」	文学・文芸	渡辺 信二	29
	9/17・24、10/1・8Ⓟ	初心者のための俳句教室	文学・文芸	野崎 海芋	69
	9/17、10/1Ⓟ	文学講座「与謝野晶子と源氏物語」	文学・文芸	神野藤昭夫	40
10月	10/6Ⓢ	自然探訪(善福寺池の四季)第2回	草花・自然	星野 義延 他	12
	10/6・13・20・27Ⓢ	いきいき朗読教室(本天沼集会所)	文学・文芸	岡 摂子	75
11月	10/23Ⓢ	防災フォーラム	防災		106
	11/6Ⓢ	東大アプリで考える首都直下地震72時間	防災	田中 淳	19
	11/9Ⓢ	フライパン1つでできるフランス料理講座	料理	天下井廉人	18
	11/24、12/1Ⓢ	大人のワイン講座	料理	上田 紀子	19
12月	11/26Ⓟ	荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター	健康・運動		151
	11/27Ⓢ	秋を楽しむ木の実工作教室	自然・工作	山室 京子	16
	12/2・9・16Ⓢ(3回)	背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操	健康・運動	高橋 晃史	61
12月	12/11Ⓢ	荻窪寄席	芸能	金原亭馬玉 他	24
	12/14Ⓢ~1/16Ⓢ	荻窪の記憶Ⅳ 当センターロビーパネル展示	歴史		
1月	1/12Ⓢ	自然探訪(善福寺池の四季)第3回	草花・自然	星野 義延 他	15
	1/21Ⓟ~3/22Ⓢ	荻窪の記憶Ⅳ 郷土博物館分館パネル展示	歴史		
2月	2/2Ⓢ	ひらやすかつこが歌う日本の歌世界の歌	音楽	ひらやすかつこ	37

■令和3年度 事業企画部 講座等実績一覧表

月	開催日	名称	ジャンル	講師	参加者等
4月	4/17・24、5/1・8Ⓟ	初心者のための俳句教室	文学・文芸	野崎 海芋	78
6月	6/9・16・23・30Ⓢ(4回)	リズム&ストレッチ	健康・運動	後藤 鈴香	78
	6/19Ⓟ	野外講座「荻外荘通りを歩こう」	歴史	松井 和男	17
7月	7/13Ⓢ	講談鑑賞出前授業(桃二小)	キッズ	神田 山緑	6年生
	7/18Ⓢ	さいえんす縁日	キッズ		中止
8月	8/4・11・18・25Ⓢ	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング	健康・運動	安藤 操	69
	8/5・12・19・26Ⓢ	現代の短編を読む	文学・文芸	生田 美秋	49
	8/14Ⓟ	講談鑑賞会	芸能	神田 山緑 他	25
9月	9/11・18・25、10/2Ⓟ	じっくりと読む奥の細道	文学・文芸	林 誠司	94
	9/26Ⓢ	コロナ禍における発展途上国の現状	一般教養	林 薫	22
10月	10/7・14・21・28Ⓢ	いきいき朗読教室	文学・文芸	岡 摂子	74
	10/16Ⓟ	トルストイの民話・人は何で生きるのか	文学・文芸	杉山 春子	16
	10/23Ⓟ	多肉植物で作るミニチュアガーデン	花・手芸	吉野 華恵	12
11月	11/7Ⓢ	災害情報で命を守る	防災	田中 淳	26
	11/27Ⓟ	荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター	健康・運動		105
	11/28Ⓢ	秋を楽しむ木の実工作教室	花・手芸	山室 京子	12
12月	12/3・10・17Ⓢ(3回)	背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操	健康・運動	高橋 晃史	54
	12/5Ⓢ	防災フォーラム	防災		165
	12/11Ⓟ~1/19Ⓢ	荻窪の記憶Ⅳ 郷土博物館分館パネル展示	歴史		
	12/12Ⓢ	荻窪寄席	芸能	金原亭馬玉 他	21
1月	1/12Ⓢ(3回目)	天才・手塚治虫との対話から	文学・文芸	加藤 文夫	30
2月	2/2Ⓢ~3/21Ⓢ	荻窪の記憶Ⅳ 当センターロビーパネル展示	歴史		
	2/4・11Ⓢ	正しく学ぼうラジオ体操	運動・健康	銚立 和子	34
	2/10Ⓢ	調理実習「ビバ・発酵食！」	料理	梅山 朋子	11
	2/19Ⓟ	荻窪にあるネパール人学校(EISJ)を知ろう	国際交流	ビスヌ校長	15

地域交流部

地域交流部は、大きなイベントの開催を通じ地域の方々に交流とお楽しみを提供する活動に取り組んでいます。従来からの活動に加え、近年は子供達の学びと遊びを通じ若いご家族にも集っていただける催しを実施しています。

令和3年度はコロナの影響で計画した催しの延期や中止が続きましたが、令和4年度は制限付きながら、計画した5つのイベントすべてを実施することができました。

初めて企画した「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」には、2時間30分で500名の来場者に買い物と仮装ハロウィン撮影会などを楽しんでいただき、大盛況の催しとなりました。

又、この催しに都立荻窪高校の生徒会から5名がボランティアとして手伝いに来ていただき、区民との触れ合いを通じた社会活動経験の場ともなりました。



左から萬、小野、影山、上田、杉浦



おぎくぼセンター祭



荻窪音楽祭
地域ふれあいアフタヌーンコンサート



アート展



マルシェ in 荻窪地域区民センター



マルシェ&ハロウィン子どもまつり



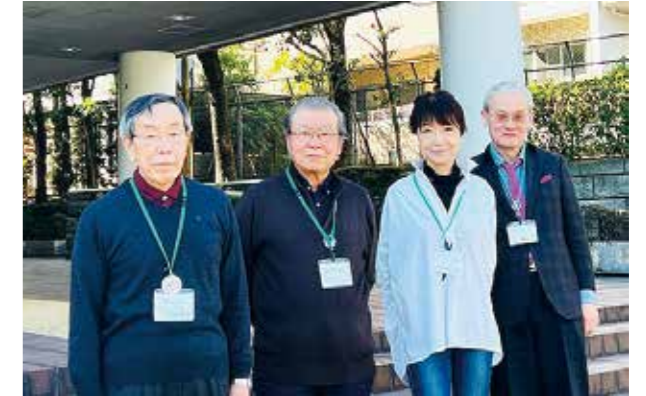
本天沼集会所まつり

■地域交流部イベント一覧表

年度	開催月	分類	行事名	実施日	参加者数など
令和3年度	10月	イベント	マルシェ in 荻窪地域区民センター (センター祭を内容変更)	10月31日	約700名
	11月	イベント	荻窪音楽祭 地域ふれあいアフタヌーンコンサート	11月6日	申込制40名
	1月	イベント	アート展	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
	2月	イベント	本天沼集会所まつり	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
令和4年度	6月	イベント	おぎくぼセンター祭	6月5日	約900名
	9月	イベント	アート展	9月24・25日	約500名
	10月	イベント	マルシェ&ハロウィン子どもまつり	10月30日	約500名
	11月	イベント	荻窪音楽祭 地域ふれあいアフタヌーンコンサート	11月5日	70名
	2月	イベント	本天沼集会所まつり	2月26日	約600名

広報部

広報部は当協議会の全てのイベント・講座などに関わり、開催案内、当日の写真撮影と取材、開催報告をホームページや広報紙「わたしのおぎくぼ」に掲載するのを主たる業務にしています。この2年間での特筆すべき活動としては、都立荻窪高校への「わたしのおぎくぼ」の全校配布の開始、講座の受講申し込みを、従来の往復はがきに加え、ホームページからも出来るようにしたこと、荻窪の記憶プロジェクトに参加し、「荻窪の記憶Ⅳ/清水・桃井・今川の歴史」と、「総集版 荻窪の記憶」の二つの冊子の制作に関わったことがあげられます。



左から横尾、松崎、伊藤、西村



広報紙「わたしのおぎくぼ」

ホームページ

冊子類

■広報誌「わたしのおぎくぼ」主な掲載記事

年度	月	No.	主な掲載内容
令和3年度	4月・5月号	350	茂木会長就任挨拶、年間行事予定、学校紹介「神明中」、コラム「汽笛と武蔵野」、新規発行物案内
	6月・7月号	351	アート展案内、学校紹介「西田小」、コラム「階段を探して」、定期総会・感謝状贈呈式報告
	8月・9月号	352	おぎくぼセンター祭案内、学校紹介「宮前中」、コラム「ベレー帽」、「荻外荘通りを歩こう」案内
	10月・11月号	353	マルシェ in 荻窪地域区民センター案内、学校紹介「桃二小」、コラム「気になる木」、荻窪寄席案内
	12月・1月号	354	アート展案内、学校紹介「中央大学杉並高校」、コラム「絹の道」、荻窪の記憶Ⅳパネル展示案内
令和4年度	2月・3月号	355	本天沼集会所まつり案内、学校紹介「日本大学第二高校」、コラム「都心から一番近い武蔵野」
	4月・5月号	356	年間行事紹介、学校紹介「文化学園大杉並高校」、コラム「1万2千年の旅」、おぎくぼセンター祭案内
	6月・7月号	357	学校紹介「都立荻窪高校」、コラム「戦争と記憶」、定期総会報告、自然探訪「善福寺池の四季」第1回案内
	8月・9月号	358	アート展案内、学校紹介「都立杉並高校」、コラム「情報局編輯「週報」」、「こみゅに亭カフェ」案内
	10月・11月号	359	マルシェ&ハロウィン子どもまつり案内、学校紹介「都立豊多摩高校」、コラム「月光社の話」
	12月・1月号	360	荻窪の記憶Ⅴ展示紹介、学校紹介「都立西高校」、コラム「現在と過去を繋ぐ横丁」、協議会委員募集
	2月・3月号	361	本天沼集会所まつり案内、学校紹介「都立農芸高校」、コラム「春木家と女将の話」、冊子発行案内

総務部

総務部は主に経理・庶務を担当しています。毎月の役員会・委員会の運営、定期総会・地域懇談会の開催、館外研修・館内研修の実施などにより、協議会を支える活動の一翼を担っています。

地域交流会「こみゆに亭」は令和元年度に地域の方々とのふれあいを目的として立上げ、コロナ禍中の令和3・4年度は小規模な地域交流会「こみゆに亭カフェ」を開催しました。



左から茂木、船津、杉原

令和3年度・4年度 総務部の主な活動

年度	月日	内容
令和3年度	4月21日	令和3年度定期総会、感謝状贈呈式（田中区長出席）
	7月10日	地域交流会「こみゆに亭カフェ」はっぴーごりらさん 他
	10月13日	館外研修、防災施設「そなエリア東京」（江東区有明）を見学
	11月16日	地域清掃「クリーン大作戦」実施
令和4年度	3月5日	地域交流会「こみゆに亭カフェ」和泉妃夏さん、Toshi小島さん 他
	4月26日	令和4年度定期総会
	8月28日	地域交流会「こみゆに亭カフェ」小田陽子さん
	9月21日	地域清掃「クリーン大作戦」実施
	11月15日	館外研修、「東京都庭園美術館」（港区白金台）見学
	2月5日	地域懇談会（全体会合とグループ討議）



令和3年度定期総会 茂木会長挨拶

「荻窪の記憶」プロジェクト

「荻窪の記憶」プロジェクトはOB・サポーターと現役の協議会委員が協働し、荻窪の歴史を調査し、成果発表を行うプロジェクトです。

令和3年度は清水・桃井・今川の歴史を、令和4年度は荻窪駅周辺の近代史を主体に活動しました。パネル展は2年とも、杉並区立郷土博物館分館と、当センターロビーで行い、冊子については令和3年度は「荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史」を発行し、令和4年度は7年間のプロジェクト活動の集大成となる「総集版 荻窪の記憶」の編集を完了しました。



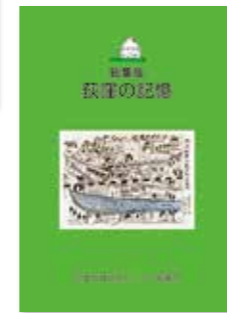
杉並区立郷土博物館分館での展示



当センターロビーでの展示



荻窪の記憶Ⅳ
清水・桃井・今川の歴史
令和4年3月発行



総集版
荻窪の記憶
プロジェクト活動の集大成です。これまでの成果をまとめて編集し、掲載しています。

令和3年度・4年度「荻窪の記憶」プロジェクト活動一覧表

年度	実施月日	分類	内容
令和3年度	5月15日	その他	南荻窪一丁目に「荻外荘通り」愛称プレートを設置、プレート設置場所が全6か所となる
	6月19日	野外講座	「新版・荻窪の記憶」発刊記念、野外講座「荻外荘通りを歩こう」
	12月1日～1月19日	パネル展示	杉並区立博物館分館にて「荻窪の記憶Ⅳ～清水・桃井・今川の歴史」のパネル展示
	2月2日～3月21日	パネル展示	荻窪地域区民センターロビーにて「荻窪の記憶Ⅳ～清水・桃井・今川の歴史」のパネル展示
令和4年度	3月末	出版	冊子「荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史」を発刊
	5月14日	野外講座	野外講座「武蔵野の面影を探して」を開催、清水方面の散策
	12月14日～1月16日	パネル展示	荻窪地域区民センターロビーにて「荻窪の記憶Ⅴ エピローグ・発展と変貌」のパネル展示
	1月21日～3月19日	パネル展示	杉並区立郷土博物館分館にて「荻窪の記憶Ⅴ エピローグ・発展と変貌」のパネル展示
	3月末	出版	過去7年間のプロジェクト活動の集大成となる冊子「総集版 荻窪の記憶」の編集を完了

会計監事

会計監事の仕事は、与えられた予算が事業計画に則り、適正に使われているかを検証することです。地域区民センターの財源は区民の皆さんの税金である杉並区からの補助金と、協議会が行う講座やおぎくぼセンター祭などのイベントによる自主財源で構成されています。

これらを協議会がいかに有効に使い地域の皆さんに活用していただけるか、毎月の役員会に参加し、半期、決算と会計監査を行っています。地域区民センター協議会にご興味のある方はHPで公開されている予算・決算も是非ご覧ください。



左から桑山、伊藤

事務局・地域活動係



後列左から上田、平野、最上
前列左から岩井、吉川、鈴木

荻窪地域区民センター協議会事務局は、協議会の活動が円滑に進むよう、荻窪地域活動係とともに活動しています。

荻窪地域担当副参事は、センター協議会事務局長として地域活動係の職員とともに、協議会の経理事務や事業実施に係る事務のほか、担当地域における区施策の推進に関すること及び町会・自治会等への支援に関する業務を担っています。

荻窪地域活動係は協議会活動のサポートのほか、荻窪・天沼地区の町会活動の支援や荻窪地域区民センターなどの集会所の管理に関する業務などを担っています。

OB会

OB会は協議会活動を卒業した委員で構成されています。協議会活動のお手伝いとOB会員同士の親睦を図るのが目的です。「センター祭」など大きなイベントにサポーターとしてお手伝いしています。また、隔月発行される協議会広報紙「わたしのおぎくぼ」をメールのファイル添付でOB会員にお知らせしています。OB会員同士の親睦を図る懇親会は、コロナのため残念ながら令和2年度から実施できませんので、令和5年4月から新会長のもとでOB会活動が実質的に再始動いたします。



本天沼集会所まつりをサポート OB会の方々